



クローズアップ南科 民国 100 年 (2011)

夢の香りが漂うアットホームな南科

温暖な台湾南部の嘉南平原のたわわに実った黄金色の稲穂のように、南科もまた年々目覚ましい成果を上げ、台湾南部における就職事情の改善と国家の経済発展という夢を紡いできました。

十年近くの間、南科は抜群の行動力と不断のイノベーションにより、リーマンショックの後遺症で世界経済が低迷するという悪条件の中でも入居企業とともに無限の産業再起エネルギーを蓄積し、豊かな収穫を上げてきました。

南台湾に根を下ろして世界を相手に戦うのが南科に課せられた崇高な使命であり、アジアのハイテク産業、ハイテク人材の中心として企業の生産活動を支え、地域住民に希望を持たせることが南科の一貫した願いです。2011年、南科は厳しい国際環境の中、2010年に打ち出した「永続園区 芸術南科」という目標を引き継いで奮闘し、24社、総額153.2億元の新規投資を受け入れて地域住民の希望を繋ぎました。また、南科を郷土が誇りとする「グリーンな生産、快適な生活、豊かな生態」の環境に配慮したグリーンサイエンスパークとして発展させるべく、台湾南部の地域的特色を生かしながら文化芸術と持続可能な発展を可能にする環境作りを積極的に推進しました。



2011年1月2日には「台湾鉄道沙崙支線」が正式に営業運転をスタートし、バス、鉄道など公共の交通機関の接続がスムーズになりました。これはビジネスの足として大きな役割を果たすだけでなく、約918トンの二酸化炭素の排出削減に貢献することでグリーンなサイエンスパークの実現という南科の目標を具現化したものでもあります。みなぎる成長エネルギーと我が家のような温かい雰囲気にあふれた南科で、異郷に暮らす人々はどこからともなく聞こえてくる黄色いリボンの呼ぶ声に耳を澄まします。この純朴な土地に魅せられて南科にやって来る優秀な人材もまた多いのです。

民国100年(2011)という記念すべきこの一年に「南科永続環境緑色園区推動計画」が行政院2011年国家永続発展奨を獲得しました。活力いっぱいの温かく緑あふれる環境に美しい声がかたまる南科。南科は今後も「産業集積の発展、環境に配慮した持続可能なサイエンスパークの実現、文化芸術の推進」という三大目標に向かって歩み続けます。✂

